

空冷式冷専(標準・インバーター)

■標準仕様表

(50/60Hz)

項目・単位		型式	RCUNP75AV1	RCUNP125AV1	RCUNP190AV1	RCUNP250AV1	RCUNP375AV1	RCUNP500AV1
冷 却 能 力 ※1	kW		7.5	12.5	19.0	25.0	37.5	50.0
冷 却 C O P ※1	—		3.33	3.20	3.16	2.97	3.09	2.97
法 定 冷 凍 能 力	トン		0.96	1.58	2.28	3.04	4.30	6.16
高圧ガス保安法区分	—		届出不要					
外装(マンセル記号)	—		ナチュラルグレー(1.0Y 8.5/0.5)					
外形寸法	高 さ	mm	1,380	1,380	1,675	1,675	1,675	1,675
	幅	mm	950	950	950	950	1,210	1,600
	奥 行	mm	370	370	765	765	765	765
圧縮機	型 式	—	スクロール					
	台 数	台	1	1	1	1	1	2
	電動機定格出力(仮数)	kW	2.0(6)×1サイクル	3.5(6)×1サイクル	5.1(6)×1サイクル	7.2(6)×1サイクル	10.4(6)×1サイクル	(7.1+7.1(6))×1サイクル
	潤滑油温度調整装置	—	オイルヒーター(52W)	オイルヒーター(52W)	オイルヒーター(40.8W×2)	オイルヒーター(40.8W×2)	オイルヒーター(40.8W×2)	オイルヒーター(40.8W×4)
空気側熱交換器型式	—		多通路クロスフィン式					
水側熱交換器型式	—		プレート式					
送風機	型 式	—	プロペラファン					
	台 数	台	2	2	1	1	2	2
	機 外 静 圧	Pa	0					
	風 量	m³/min	90	105	190	205	240	365
	電動機定格出力(仮数)	kW	0.1(10)×2	0.1(10)×2	0.42(8)×1	0.52(8)×1	0.34(8)×2	0.62(8)×2
冷媒制御装置	—		電子膨張弁					
冷媒種類	—		R410A					
封入量	kg		3.0	3.0	5.5	5.5	9.5	13.0
潤滑油種類	—		FVC68D					
運転調整装置	—		運転スイッチ付き 遠方ー 手元切替スイッチ付き(遠隔操作接点は現地準備・リモコンはオプション)					
	水温調節装置	—	電子式温度調節器(出口水温制御)					
	表示灯	—	赤色…運転・橙色…警報					
	冷媒圧力計	—	不付き(接続口・セグメント表示機能付き)					
	容量制御範囲	%	100～36・停止	100～22・停止	100～36・停止	100～27・停止	100～24・停止	100～13・停止
保護装置(保護制御機能)	—		高圧圧力遮断装置、低圧圧力遮断制御、凍結防止制御、冬期ポンプ自動運転制御、吐出ガス過熱防止制御、過電流保護制御、圧縮機動力回路用ヒューズ、操作回路用ヒューズ					
電気特性 ※1 ※2	消費電力	kW	2.25	3.90	6.0	8.4	12.1	16.8
	運転電流	A	7.2	12.5	19.2	26.9	38.8	53.9
	力 率	%	90	90	90	90	90	90
	始動電流(終了最大)	A	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	42.0
	基準電流 ※2	A	11.7	20.4	31.2	43.8	55.5	77.1
電源	動力電源(現地接続)	—	三相 200V 50/60Hz					
	圧縮機用電動機電源	—	三相 200V 50/60Hz					
	送風機用電動機電源	—	三相 200V 50/60Hz					
	操作回路電源	—	単相 200V 50/60Hz					
運転音 ※1 ※3	正 面	dB(A)	46	48	58	58	61	61
	右 側 面	dB(A)	46	48	62	62	65	65
	左 側 面	dB(A)	48	50	62	62	65	65
	背 面	dB(A)	48	50	62	62	65	65
配管接続口	水側熱交換器(出入口)	—	Rc1	Rc1	Rc1 1/2	Rc1 1/2	Rc2	Rc2
	ド レ ン	—	—	—	—	—	—	—
製品質量(運転質量)	kg		102(103)	103(104)	188(191)	196(199)	267(273)	363(369)

※1. 表中の冷却能力・電気特性および運転音は次の運転条件における場合を示します。

・冷却運転：空気側熱交換器入口空気乾球温度 35℃・冷水入口温度 12℃・冷水出口温度 7℃

なお、冷却能力・消費電力・COPの表示値許容公差はJRA4066:2014「ウォーターチリングユニット」によります。

※2. トランス容量および配線容量は、使用条件の違いなどを見込んで、必ず基準電流値で選定してください。(圧縮機用電動機定格出力は実際の運転出力とは異なりますのでご注意ください。)

また、現地準備の冷水循環ポンプを接続する場合や、他の補機と電源を共有する場合には、接続する補機の消費電力および運転電流を加算して決定してください。

※3. 運転音は、製品各面1m・高さ1.5mの位置における無響室(自由空間)換算値です。

実際の据付状態では運転状況が異なったり周囲の騒音や反響などの影響を受けるため、本表の値より大きくなります。

(据付状態により異なりますが、およそ4～6dB大きくなる場合があります。)

また、起動時・停止時・バルブ切替え時などの運転状態が変化する際に過渡的に発生する音や容量制御中の運転音は含んでおりません。

据付に際しては、反響音の影響を考慮し、必要な場合は防音処置を講じてください。

注 記

(1) 水側熱交換器へのごみ、異物の混入を防止するため、ユニット近傍の入口水配管に、必ず20メッシュ相当(現地準備品、パンチングメタルの場合は、φ1.5mm以下のストレーナー)を取付けるようにしてください。

(2) 「設備設計・据付け上の注意点」を本カタログ113～122ページに記載していますので、必ずご確認ください。

(3) 「使用範囲および最小保有水量」を本カタログ12・13ページに記載していますので、必ずご確認ください。